



同窓会長挨拶

会長 いよや ひでお
伊豫屋 偉夫 (昭41)

平成の年も19年目を迎えましたが、会員の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

長薬同窓会の会員は約4,300人おりますが、平成卒の会員が約2,000人になっており、全国各地で若い会員が中核となって活躍している姿に接し、大変頼もしく思っています。

今年の長薬同窓会の総会は、近畿支部の皆様のご協力を得て、6月9日に大阪駅前のホテルグランヴィア大阪で開催しました。今年は近畿支部から50名、また北は関東支部から南は沖縄支部まで16支部から70名、合計120名の参加があり、大変盛會裏に終了することができました。これも偏に、近畿支部の白石支部長はじめ役員の皆様の並々ならぬご尽力と、各学年理事の皆さんの近畿でのクラス会開催の取り組みの賜物と厚くお礼申し上げます。

総会では、若い会員の参加、女性会員の参加を増やすこと、名簿・会報の発行、ぐびろが丘下の原爆慰霊碑周辺の清掃、並びに諫早市の旧小野島校舎跡地記念碑周辺の清掃を行うこと等を決定しました。各行事の実施については、長薬同窓会のホームページに掲載しますので、多くの会員の皆様の参加をお願いします。

緑色蛍光タンパク質の発見で今年1月「朝日賞」を受賞されました、昭和26年卒でアメリカ在住の下村 脩博士に、これまでの博士のご業績に対して10月20日長崎大学中部講堂において齋藤学長から「長崎大学名誉校友」の称号が授与されました。名誉校友は下村博士が3人目だそうで、長薬同窓

会としましても大変喜ばしく光栄に思っています。

4人目5人目の名誉校友が長薬同窓生の中から誕生することを期待しています。

薬学部では、平成18年11月に本館2階に薬に関する資料を展示した「お薬の歴史資料館」を開設されました。そこで、115年以上の歴史を持つ長薬同窓会の会員の皆様方が所蔵する貴重な資料の寄贈を広く呼びかけ、保存・展示し、後輩たちの教育等に活用させていただくこととしました。貴重な資料などございましたら是非長薬同窓会にお譲りくださいますようお願いいたします。

長崎大学薬学部も6年制が導入されて2年目を迎えています。大学も医療界も大きな変革の時期にきています。いろいろな職業に就いた会員が、全国各地で活躍しています。同窓会総会は、会員が一堂に会し、同じ大学を卒業した先輩、後輩として、お互いの情報を交換できる絶好の機会と思えます。総会の開催時期等、役員の皆様は英知を絞って取り組んでおられます。各支部総会にも、会員の皆様の積極的な参加をお願いします。

さらに、各支部で、各学年クラス会で、各クラブ同好会で等の取り組みについて、同窓会ホームページに掲載し、多くの会員に周知したいと思いますので、是非情報提供をお願いします。また、同窓会へのご意見等につきましても、E-mail等で同窓会事務局までお寄せいただきますようお願いいたします。

最後に、会員皆様のご活躍とご多幸を祈念いたします。